



Safety Data Sheet (EC)No.1907/2006 準拠










SwissWall カルクファサード 天然漆喰塗材

製品番号：H500

2016年7月25日 初版

1. 基本情報及び会社情報				
1-1. 基本情報	製品名	SwissWall カルクファサード 天然漆喰塗材 (外壁専用) 製品番号：H500		
	製造者	HAGA AG Naturbaustoffe		
	住所	Amselweg 36 CH-5102 Ruppertswil		
	電話番号	+41(0)62889 18 18	FAX	+41(0)62 889 18 00
	e-mail	info@haganatur.ch		
1-2. 使用用途	分類	概要：天然漆喰塗材 (外壁専用) 適用：外壁の仕上げ材		
	補足	特になし		
1-3. 緊急時の お問合せ先	お問合せ先	株式会社イケダコーポレーション		
	電話番号	06-6452-9377		
1-4. 輸入業者	会社名	株式会社イケダコーポレーション		
	住所	〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4丁目8-28 FJビル3F		
	電話番号	06-6452-9377	FAX	06-6452-9378
	H P	www.iskcorp.com	e-mail	info@iskcorp.com
2. 危険有害物の要約				
2-1. 物質または 混合物の分類	(EC)No.1272/2008 準拠 Eye Dam. 1 H318 重篤な眼の損傷 kin Irrit. 2 H315 皮膚刺激 Skin Sens. 1 H317 アレルギー性皮膚疹のを起こすおそれ 67/548/EEC 準拠または 1999/45/EC 準拠に分類 Xi：刺激 R38-41：皮膚への刺激。目に重篤な損傷を与える危険性がある Xi：過敏性 R43：皮膚接触により皮膚過敏性を引き起こす可能性がある			
2-2. ラベル要素	シグナルワード： 危険 ラベル：  GHS05  GHS07			

<p>2-2. ラベル要素</p>	<p>ラベリングの危険要素： ポルトランドセメントクリンカ（Portland Cement Clinker） 水酸化カルシウム（Calcium Hydroxide）</p> <p>危険有害性情報：</p> <p>H315 皮膚刺激 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H318 重篤な目の損傷</p> <p>注意：</p> <p>P102 子どもの手の届かない場所に保管する。 P103 使用前にラベルをよく読むこと。 P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。</p> <p>P302+P352+P332+P315 皮膚（頭髮）に付着した場合： 多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、直ちに医師に診断・手当てを受けること。</p> <p>P362+P338 眼に入った場合： 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>P501 内容物/容器は、国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。</p> <p>特定の混合物に関する特別なラベリング：</p>	
<p>2-3. その他の危険</p>	<p>乾燥した混合物は水との接触または濡れた場合、強アルカリ性溶液を生じる。強アルカリ性の為、湿った製品は皮膚や目の刺激を起こす場合がある。特に長時間の接触した場合は、重篤な皮膚損傷の危険性がある。</p> <p>PBT および vPvB 評価の結果</p> <p>PBT：適用外 vPvB：適用外</p>	
<p>3. 組成及び成分情報</p>		
<p>3-2. 化学的特性</p>	<p>化学的特性</p>	<p>全成分： 消石灰、ブナセルローズ繊維、ブナセルローズ粉、石灰粒、石灰粉、石灰泥、チョーク粉、リンシードスタンドオイル（亜麻仁油）、水、アルミナ粉</p>

<p>3-2. 化学的特性</p>	<p>混合物</p>	<p>無害な添加物と共に以下に列挙した物質の混合物</p> <p>水酸化カルシウム (Calcium Hydroxide)</p> <ul style="list-style-type: none"> • CAS No.1305-62-0 • ECNECS 215-137-3 • 割合 10～25% • (EC)No.1272/2008 準拠に従って分類： <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>Xi R37/38-41</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Eye Dam. 1, H318</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>Skin Imit. 2, H315</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>STOT SE 3, H335</p> </div> <p>石灰石 (酸化カルシウム) (calcium carbonate)</p> <ul style="list-style-type: none"> • CAS No.1317-65-3 • ECNECS 215-279-6 • 割合 50～100% • (EC)No.1272/2008 準拠に従って分類： <p style="padding-left: 40px;">地域によって暴露限界を有する物質</p> <p>ポルトランドセメントクリンカ (Portland Cement Clinker)</p> <ul style="list-style-type: none"> • CAS No.65997-15-1 • ECNECS 266-043-4 • 割合 <10% • (EC)No.1272/2008 準拠に従って分類： <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>Xi R37/38-41</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>Eye Dam. 1, H318</p> </div> </div> <p style="padding-left: 40px;">Xi R43</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>Skin Irrit. 2, H315</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>Skin Sens. 1 H317</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>STOT SE 3, H335</p> </div> <p>※ 記載された危険有毒性の記述はセクション 16 を参照</p>
-------------------	------------	--

4. 応急処置		
4-1. 応急処置の説明	<p>応急処置の説明</p> <p>吸入</p> <p>皮膚接触</p> <p>目に入った場合</p> <p>飲み込んだ場合</p>	<p>初期救助者は、個人用保護具は必要ありません。しかし、救助者は製品との接触は避けるべき。</p> <p>粉塵の原因を除去し、新鮮な空気を与える。新鮮な空気のある場所へ移動させる。不快感、咳または持続的な刺激がある場合は、石の診察を受ける。</p> <p>直ちに水と石鹼で洗い流し、よくすすぐ。直ちに汚染された衣服を脱ぐ、再使用する場合には洗濯をする。再使用する場合には靴を清掃する。皮膚の刺激が続く場合は、医師の診察を受ける。</p> <p>目の損傷が増える可能性がある為、目をこすらない。コンタクトレンズを着用している場合は外し、目を開いた状態で 20 分以上洗い流す。刺激が残る場合は、医師又は眼科医で診察を受ける。</p> <p>無理に嘔吐させない。意識があるときは、水で口をすすぎ十分は水を飲む。直ちに医師の診察を受ける。</p>
4-2. 重要な症状と影響（急性・遅発）	<p>病状と効果はセクション 2 と 11 を参照。</p> <p>乾燥した混合物は水との接触または濡れた場合、強アルカリ性溶液を生じる。強アルカリ性の為、湿った製品は皮膚や目の刺激を起こす場合がある。特に長時間の接触した場合は、重篤な皮膚損傷の危険性がある。</p>	
4-3. 医師の診察と特別な治療	<p>関連情報なし</p>	
5. 火災時の措置		
5-1. 消火剤	<p>適切な消火剤：</p> <p>二酸化炭素（CO₂）、消火粉末、水噴霧ジェット。大規模な火災には、水噴霧器またはアルコール耐性発泡剤を使用してください。</p> <p>不適消火剤：</p>	
5-2. 物質/混合に伴う特別な危険性	<p>関連情報なし</p>	
5-3. 消防士へのアドバイス	<p>特別な保護具：特別な処置は必要なし。</p>	
6. 漏出時の措置		
6-1. 人体に対する予防措置、保護具及び緊急処置	<p>保護具を着用する。</p> <p>着用していない人は避ける。</p>	
6-2. 環境に対する予防措置	<p>多量の水で希釈する。排水／地表水／地下水へ製品を排出しないこと。</p>	
6-3. 洗浄の方法・材料	<p>液体結合性材料（砂、珪藻土、酸、結合剤等）で吸収させる。</p> <p>廃液は地域条例に従って廃棄する。</p> <p>十分な換気を確保する。</p>	
6-4. 他章の参照	<p>安全な取扱い：第 7 章を参照してください。</p> <p>保護具：第 8 章を参照してください。</p> <p>廃棄：第 13 章を参照してください。</p>	

7. 取扱い及び保管上の注意		
7-1. 取扱い上の注意	安全な取扱いに関するアドバイス： 十分な換気を行う。 火災及び、爆発防護に関するアドバイス： 特別な処置は必要ありません。	
7-2. 安全な保管の条件	保管室と容器の必要条件： 特別な条件はありません。 保管室及びコンテナの条件： 特別な条件はありません。	
7-3. 具体的な使用用途	業界および業種別ガイドライン： 関連情報なし	
8. ばく露防止及び保護措置		
8-1. 制御パラメーター	職業暴露限界／ 生物学的限界値	物質名：水酸化カルシウム ・ CAS No.1305-62-0 ・ MAK : Long-term value 1 E mg/m ³
8-2. 露出制限・管理	保護と衛生対策 呼吸の保護 手の保護 目の保護	食品・飲料・肥料から離す。 直ちに汚れた衣類を脱ぐ。 休憩前と作業の後はよく手を洗う。 皮膚や手に触れないようにする。 短期またはそれ以下の場合は、呼吸用フィルターを着用する。 長期の暴露の場合は、自給式呼吸器を着用する。 手袋の材質は、不浸透性で製品・物質・混合物に対して耐性がなければならない。具体的な作業場所での化学物質の濃度、量により機能的に選択する。特別な使用方法に関しては、保護手袋の供給業者と共に、化学物質の耐性チェックを行うことを推奨する。 しっかりと密閉したゴーグルを着用する
9. 物理的及び化学的性質		
9-1. 物理的情報	形 状 色 匂 い 臭気閾値 pH 値 融点/凝固点 沸点/沸点範囲 引火点 蒸発速度	ペースト状 白 独特 未定 12 未定 100℃ 該当なし 該当なし

9-1. 物理的情報	可燃性(固体・ガス)	該当なし
	爆発範囲	
	下限	未定
	上限	未定
		製品は爆発性ではない。
	蒸気圧	23hpa/20℃
	比 重	1.36 g / c m ³
	蒸気密度	未定
	相対密度	未定
	溶解性 (ies)	完全に混和
分配係数	未定	
自然発火温度	製品は自己発火しない。	
熱分解温度	未定	
粘 度	3500 mPas/20℃	
9-2. その他の情報	関連情報なし	
10. 安定性及び反応性		
10-1. 反応性	規定に従って処理・保存において有害な反応なし。	
10-2. 化学的安定性	熱分解/避けるべき条件：規定に従って使用すると分解しない。	
10-3. 危険反応	有害な反応は知られていない。	
10-4. 回避条件	関連情報なし	
10-5. 互換性の無い材料	関連情報なし	
10-6. 有害な分解生成物	有害な分解生成物は知られていない。	
11. 有害性情報		
11-1. 毒物学的作用の情報	急性毒性	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	腐食/刺激効果	皮膚：肌や粘膜への腐食作用 目の接触：強い腐食作用
	過敏性	利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。
	追加の毒物学的情報	この商品は、EUの Dangerous Preparations Directive (EC) に基づき、最新のバージョンで発行された以下のリスクに関連する： 口や喉に強い腐食作用をもたらし、食道や胃の穿孔の危険につながる。
12. 環境影響情報		
12-1. 毒 性	水生生物に対する毒性	関連情報はありません。
12-2. 残留性及び分解性	関連情報はありません。	
12-3. 生体内蓄積の可能性	関連情報はありません。	

製品番号：H500

12-4. 土壌中の流動性	<p>水害クラス 1（自己評価）：水に対してわずかな危険。 製品及び溶液は、下水道に中和しないで排出してはならない。 排水溝に大量の溶液を漱ぎ流した場合、水環境における pH 値を上昇させる可能性がある。 高い pH 値は水生生物に害を及ぼす恐れ。</p>	
12-5. PBT と vPvB の評価	<p>PBT：適用外 vPvB：適用外</p>	
12-6. その他の悪影響	<p>関連情報なし</p>	
13. 廃棄上の注意		
13-1. 廃棄物処理	推 奨	<p>家庭ごみと一緒に廃棄してはならない。 排水溝や土壌にそのまま廃棄してはならない。 廃液は地域条例に従って廃棄する。</p>
	汚染した梱包	<p>汚染した包装：パッケージは地域条例に従って廃棄する。 洗浄：水と必要に応じて洗剤。</p>
14. 輸送上の注意		
14-1. 国連番号 (UN No)	<p>ADR、ADN、IMDG、IATA：除外</p>	
14-2. 国連正式輸送名	<p>ADR、ADN、IMDG、IATA：除外</p>	
14-3. 輸送危険有害性クラス	<p>ADR、ADN、IMDG、IATA クラス：除外</p>	
14-4. パッキンググループ	<p>ADR、IMDG、IATA：除外</p>	
14-5. 環境破壊	<p>環境負荷物質標示 ADR/RID/IMDG-Code/ICAO-TI/IATA-DGR：なし 海洋汚染物質：なし</p>	
14-6. ユーザーの為の特別な 注意事項	<p>適用なし</p>	
14-7. マルポール条約 73/78 付属書 II 及び IBC コードに よるばら積み輸送	<p>適用なし</p>	
15. 適用法令		
15-1. 安全・健康及び環境に 関する法令/物質または混合 物に関する特別法	<p>水域への危険度： クラス 1（自己評価）：水域へのわずかな危険。</p>	
16. その他の情報		
H と EUH に関する記述	<p>H318 重篤な目の損傷 R41 目に重大な損傷を与える危険性</p>	

備 考	<p>当 SDS にて提供される情報は、現在知りうる知見、事例、公表されたデータを基にしたものである。当 SDS は製品の安全な取扱い、使用、保管、運搬の指導を目的としたもので、保証や品質の仕様を約束するためのものではない。この情報は他の製品に転用することは出来ない。当 SDS は製品の詳細と、混合することが推奨されない物質や、推奨されない作業に関連した情報である。当 SDS は安全面に関する情報だけを含み、製品情報または製品仕様書ではない。</p>
-----	---